



みどりのこだま

福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所

(住所) 河沼郡会津坂下町大字見明字南原 881 (電話) 0242-83-2112

金山普及所

(住所) 大沼郡金山町大字川口字上町 656-1 (電話) 0241-54-2801

福島県農業賞受賞 有限会社津みずほ農場 (会津坂下町)



平成 30 年 9 月 7 日 (金)、杉妻会館 (福島市) において「第 59 回福島県農業賞表彰式」が開催され、会津坂下町の有限会社津みずほ農場が受賞されました。福島県農業賞は、県内の特に優秀な農業経営体を「農業 10 傑」として表彰するものです。

有限会社みずほ農場は、平成 7 年に有限会社猪俣徳一商店と米の販売契約を結んでいる農家が共同出資し、設立しました。農場設立当時は、ライスセンターによる乾燥調製が中心でしたが、高齢化や後継者不足等で農業経営が困難になった農家の水田が集積されてきました。設立当初、経営面積は約 1.2ha でしたが、平成 29 年には約 53ha に拡大しました。

農場は、平成 5 年の大冷害の年に有限会社猪俣徳一商店の販売契約水田で発見されたひとめぼれの変異株の選抜と特性調査を行い、平成 14 年 3 月に極早生種「瑞穂黄金 (みずほこがね)」として品種登録をしました。「瑞穂黄金」は、8 月下旬に収穫となり、コシヒカリ、ひとめぼれが中心で、作期幅が短い会津平坦部水稻栽培の作期幅拡大に寄与しています。

農場の水稻作付けは、極早生種～晩生種まで 10 品種を用い、収穫、乾燥調製作業を 8 月下旬～11 月中旬の 4 か月間に労働力を分散することで生産性向上を実現してきました。会津坂下町内に加工施設を設け、米粉パンを製造・販売するなど、米の消費拡大に努めています。また、町内の酒造会社と契約し酒米の生産拡大にも努めています。

こんにちは！ 新しく農業はじめました！

会津坂下農業普及所管内では新規就農者が増加しています。前号に引き続き、平成30年に就農した将来を担うニューフェイスを紹介します。

桐山達郎さん（金山町）

経営内容：宿根カスミソウ

就農した動機は、以前の仕事で農業風景を見ることが多く、触発されたためです。多くの方々の助けがあり、なんとか就農に漕ぎ着けました。期待を裏切らないよう頑張ります。



田崎泰之さん（柳津町）

経営内容：きゅうり(施設)+水稲+ミニトマト(施設)

高齢の方が多い集落での就農でしたが、その中で、技術面など学ぶことがたくさんあり、これから、自分の経営に活かしたいと思っています。また、周りには、後継者のいない農家さんも多いので、地域の担い手となって支えていけるような農業者になりたいと思います。



豊川庸平さん（会津坂下町）

経営内容：露地野菜（伝統野菜・葉草）

会津の地で培ってきた知恵を学び、科学的見地からの手法とのバランスを取りながら、環境負荷の少ない、生物多様性のある農業を目指します。会津だからこそこできる“会津テロワール”を発信していきたいです p(^-^)q



会津坂下農業普及所では、新規就農者を応援しています。新しく農業を始めたい方、各種支援制度について知りたい方は、気軽に御相談ください。

新規就農者等冬期研修を開催しました！

平成30年12月4日から7日の4日間、会津坂下農業普及所において、「新規就農者等冬期研修」を開催しました。研修は、新規就農者等の農業経営に必要な知識等の習得や資質向上、相互交流を目的とし、当普及所や農業総合センターの職員が講師となって、農業簿記の基礎と応用、土づくりの基礎、農薬の基礎、スマート農業などについて講義しました（写真）。講義には近隣市町村の新規就農者及び就農希望者が21名参加し、熱心に聴講する姿が見られました。



研修後のアンケートでは、「今回の研修が今後の農業経営の参考になった」「来年度も冬期研修があれば参加したい」などの意見が寄せられました。アンケートの結果も踏まえて、当普及所では、今後も新規就農者等の農業経営の早期安定を支援していきたいと考えています。

奥会津地域の宿根カスミソウの栽培振興

—昭和村が目指す百年産地の実現に向けて—

宿根カスミソウの出荷量が夏秋期日本一を誇るJA会津よつばかすみ草部会（昭和村、柳津町、三島町の生産者で構成）は、宿根カスミソウの平成29年販売額が4億9百万円と昭和59年の部会創設以来、初めて4億円を突破しました。平成30年は、さらに売上げを伸ばし4億4千7百万円となっています。

これらの背景には、栽培技術や流通技術の改善、販売対策、担い手確保対策などに、生産者、JA、行政の三者が一体となって取り組んでいること



小中学生を対象とした「花育」

ことが挙げられます。

中でも、担い手確保では昭和村を中心に多様な取組を行っています。地元の小中学生を対象とした花育、栽培地見学会、「かすみの学校」と銘打ったインターンシップの受入、就農を目的とした年単位の長期研修など、幅広い年齢を対象とし、メニューも豊富です。

これらにより、高齢化に伴って減少傾向にあった生産者数は平成29年からは増加に転じ、この2年間で12名が新たに栽培を開始しました。今年も3名が新たに栽培を開始する予定です。また、昭和中学校がこのほどキャリア教育優良校として文部科学大臣賞を受賞しました。

金山普及所でも、これまでこれらの取組に参画してまいりましたが、引き続き宿根カスミソウの栽培振興を重点課題に位置付け、昭和村が目指す百年産地の実現に向け、活動を展開していきたいと考えています。



あぜ道指導会



かすみの学校

集落ぐるみで鳥獣害対策に取り組みましょう。

—朝立集落（会津坂下町）の取組—

会津坂下町朝立集落は、柳津町との境にあり、JR只見線会津坂本駅のある集落です。毎年、ツキノワグマによる農作物被害があり、近年は、イノシシやニホンジカによる被害も確認され、その被害は年々拡大しています。

今年度、被害軽減に向けて集落で取り組んだ活動を紹介します。

【集落座談会】

野生動物の生態と被害対策を勉強したほか、集落の地図を準備し、どこに野生動物が出没し、どこで被害があったのかなど情報共有を図りました。今年度の取組を反省し、次年度に取り組む内容を検討しました。

【環境整備】

集落の方や会津農林高校生が、農地と林地の間を草刈りする環境整備を実施しました。高校生には、6回も実施していただきました。環境整備を行うことで、ツキノワグマやイノシシの出没が減少しました。

【電気柵の設置】

前年度イノシシの被害にあった水田で、電気柵を設置したところ、設置した水田では被害が見られませんでした。しかし、周囲の水田で被害が見られました。

このほか、集落の方にアンケートを実施したり、センサーカメラで出没状況を確認しました。今後も被害軽減に向け、集落の方とともに活動してまいります。



集落座談会の様子



センサーカメラに写ったニホンジカ

県品種紹介：里山のつぶ

みなさんは、こちらのロゴをごらんになったことがありますか？

そう！！今日紹介するのは、平成29年にデビューしたおいしいお米、「里山のつぶ」です。

「里山のつぶ」は粒が大きく、食べ応えのあるおいしいお米です。栽培適地は標高300m以上で、「あきたこまち」よりも収量が多く、出穂期、成熟期は2日ほど遅くなります。倒伏しにくく、いもち病や低温にも強い品種です。ただし、粒が大きい分、斑点米カメムシ類の被害を受けやすいので、しっかりと防除しなくてはなりません。高品質でおいしい「里山のつぶ」生産のため、遵守事項を県で定めていますので、遵守事項を守って作付けをお願いします。

詳細 <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36035b/satoyamanotsubu.html>



第三者認証GAPを取得しませんか？

福島県全体でGAPを推進し、会津坂下農業普及所管内では、平成30年1月までに「GLOBALG.A.P.」4件、「JGAP」9件が取得し、実践されています。これからの農業経営でGAPは大切なアイテムになってきます。事業を活用し、「GLOBALG.A.P.」、「JGAP」、「FGAP」取得を目指しませんか？

メニュー	事業実施主体	補助対象	補助率
第三者認証GAP取得・継続支援	農業者	研修会開催、指導員研修への参加、各種検査費用、農場点検、マニュアル作成、認証に対応する備品や施設改修の資材、審査費用等	定額
	農業法人 出荷団体等		
県GAP取得・継続支援	農業者	研修会開催、指導員研修への参加、各種検査費用、農場点検、マニュアル作成、認証に対応する備品や施設改修の資材等	定額
	農業法人 出荷団体等		
団体認証取得	県域農業団体 県域出荷団体等	指導員養成及び団体事務局の活動推進等	定額
(新)GAP活用 モデル産地の 育成	市町村	GAP認証取得支援及び消費者や実需者のニーズに対応したGAPの活用支援に向けた検討会等の開催、指導員・審査員の育成、マニュアル等の作成等	定額

エコファーマーになりませんか？

エコファーマーとは、土づくりと化学肥料・化学農薬の低減に一体的に取り組む「持続性の高い農業生産方式の導入に関する計画」を作成し、県知事の認定を受けた方です。エコファーマーになって、環境負荷の軽減、地球温暖化の防止、生物多様性の保全など「環境と共生する農業」に取り組んでいることをアピールしましょう。

福島県では「エコ農産物」のパッケージなどに貼るPRマークを作成しており、エコファーマーが生産した農産物を出荷・販売される方であればどなたでも御利用になれます。

両沼農村青年クラブに入りませんか？

両沼農村青年クラブでは、現在、メンバーを募集しています。管内の若手農家と一緒に学び、話し、親睦を深めませんか。興味のある方は当普及所まで連絡をお願いします。



両沼農村青年クラブは、河沼郡及び大沼郡内の若手農家のグループです。主にプロジェクト活動を通して、楽しく活動しています。

今年度のプロジェクト活動では、米のポン菓子作りに取り組んでいます(写真左)。メンバーは8人と少人数ですが、少数精鋭で両沼地域の農業を盛り上げるために奮闘しています。

【ブログ紹介】

ブログで普及活動と地域の課題等について紹介しています。

右のQRコードから是非アクセスしてください。

会津坂下農業普及所ブログ



(<http://aidubang.e.blog.jp/>)

かねやま普及所活動日誌2！



(<http://blog.livedoor.jp/kaneyama2015/>)

